



地域おこし協力隊

地域情報発信支援担当

はっとり さちこ
HATTORI sachiko

1966年生まれ。東京都出身。2015年6月より滋野地区在住。現在、平日はとうみで単身赴任、週末は主婦として家族との時間を過ごしライフバランスをとっている。まずは、自分自身からとうみの暮らしを積み重ね、少しずつ、家族皆でとうみの暮らしを味わっていきたくと意気込む。



▲「103協力隊活動中」の
初回放送(10月6日)

報を教えてもらったり、取材に同行させてもらったりと、市民の皆さんとの縁をいただいています。そこで出会った皆さんの“あたりまえ”に耳を傾ける

地域おこし 協力隊

活動レポート

Vol.5

今年度、首都圏から5名が市内に移り住み、地域活動の新たな担い手「地域おこし協力隊」として従事しています。本コーナーでは、地域の活性化のため日々奮闘する隊員の活動をお伝えします。

“あたりまえ”が とうみの宝

地域おこし協力隊 はっとり さちこ

地域おこし協力隊のはっとりさちこ(服部幸子)です。企画財政課広報統制係に所属し、コミュニティFMやケーブルテレビなどを活用した地域住民との連携による地域活動情報の発信を担当しています。

現在は、エフエムとうみやとうみケーブルテレビの皆さんに市内及び近郊のイベント情

と、変わらないとうみの風景を愛していること、お米のおいしさに自信を持っていること、千曲川の隧道掃除を「嫌だ嫌だ」と言いつつも「見に来いよ!」と誇りに感じていることなど、とうみがずっととうみで在り続けることへの愛着に気づかれます。これからは、もっともっと、自らの足で市民の皆さんに会いに行き、発見をしていきたいと思っています。

これまでは、暮らしにかかわる消費財の商品企画開発からマーケティングを通して、ブランドづくりに関わってきました。このとうみでは、市民の皆さん一人ひとりからお声を聞き、気づきや発見を大事にして、“とうみ”らしさをブランディングする情報発信をしていければと思っています。また、市民の一人として、とうみの暮らしのあれこれを出会った市民の皆さんから教えていただき、素直な驚きを体験しながら、大人から始めるふるりのくらしをライフワークとして体現していければと思っています。

また、この10月よりエフエムとうみにて、「103協力隊活動中」(毎週火曜日16時~)

でパーソナリティーを務めさせていただきます。エフエムとうみやとうみケーブルテレビの皆さんからいただいたご縁を活かしながら、番組のタイトルどおり、他の協力隊員と一緒に、市内の活動をライブ感を大切にお伝えしていきます。その中で、協力隊一人ひとりのこれまでの彩とりどりの経験や考え、思いとともに、とうみでの活動からの新たなミカタや気づきをお伝えしていきます。そして、とうみでは当たり前かもしれないかもしれませんが、それだからこそ素晴らしいヒトやコト、モノをもっともっと多くの人に知っていただきたいと思っています。これからは、市民の皆さんと一緒に、とうみにしかない暮らしを、日本中に、いや!世界中に広めていきましょ!

